

2008 年度

科目名 日本文学史VI	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 東 典幸
授業テーマ 日本近代文学小説史。		
授業の概要と目標 明治から平成までの日本の小説家や小説を知る。		
評価方法 試験。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 最初の小説。坪内逍遙「当世書生気質」、二葉亭四迷「浮雲」。 2. 自然主義の始まり。島崎藤村「破戒」、田山花袋「蒲団」。 3. 私小説の流行。葛西善蔵「哀しき父」、夏目漱石「道草」。 4. 非自然主義系の作家。芥川龍之介、谷崎潤一郎。 5. 新感覚派。横光利一「花園の思想」、川端康成「眠れる美女」。 6. プロレタリア文学。葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」、小林多喜二「一九二八年三月十五日」。 7. 昭和十年代。井伏鱒二「山椒魚」、中島敦「山月記」。 8. 戦後文学1。野間宏「真空地帯」、大岡昇平「俘虜記」。 9. 戦後文学2。太宰治「人間失格」、三島由紀夫「金閣寺」。 10. 第三の新人。安岡章太郎「悪い仲間」、遠藤周作「沈黙」。 11. 六十年代の文学。大江健三郎「死者の奢り」、倉橋由美子「パルタイ」。 12. 内向の世代。古井由吉「杳子」。 13. ポストモダンの風潮。村上春樹「1973年のピンボール」。 14. ポストモダンの感覚。山田詠美「ベッドタイムアイズ」。 15. いま現在の若手から。吉田篤弘「針がとぶ」。		